

2022年3月期 第3四半期 決算概要

2022年2月10日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2022年3月期 3Q 決算概要

2022年3月期 第3四半期 決算ハイライト

第2四半期に引き続き、第3四半期連結累計期間においても上場来最高益を計上

売上	連結	連結売上高は、前年同期比124.2%、57億円増の293億円。
	日本	前年同期比116.6%の104億円。 引き続き、電子部品・半導体関連が好調を維持。
	中国	前年同期比126.4%の156億円。 全業種で好調を維持し、特に電子部品・半導体の受注が貢献。
	東南アジア	前年同期比128.5%の12億円。 シンガポール、ベトナム、マレーシア、フィリピンが特に堅調。
	欧米他	前年同期比150.8%の19億円。 医療関連に加えて電子部品・半導体関連が好調。
利益		営業利益は前年同期比275.5%の2,570百万円 経常利益は前年同期比253.0%の2,543百万円 四半期純利益は1,778百万円（前年同期は四半期純損失80百万円）
ネット資金		四半期純利益の計上等により、期首から1,295百万円増加。

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

1

■ 2022年3月期 3Q決算ハイライト

■ 前期は新型コロナウイルスの影響を受け、大幅な減収となったが、今期は世界的に新型コロナウイルスからの回復傾向が見られ、全地域が増収となり、大幅な増益を確保

■ 特に中国では現地通貨ベースでも大幅な増収を達成し、業績回復に大きく貢献

■ 利益面は、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇もあったが、増収による効果がそれを上回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも大幅な増益となり、第3四半期累計期間としては、上場来最高の利益を計上

損益計算書サマリー(3Q比較)

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	23,658		29,372		5,714	124.2%
営業利益	3.9%	932	8.8%	2,570	1,637	275.5%
経常利益	4.2%	1,005	8.7%	2,543	1,538	253.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-	▲ 80	6.1%	1,778	1,858	-

■ 損益計算書サマリー

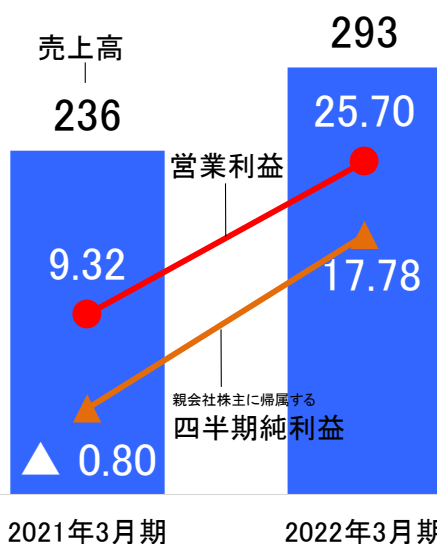
■ 売上高は293億72百万円で、前年同期比124.2%、57億14百万円の増収

■ 営業利益は25億70百万円、経常利益は25億43百万円、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は17億78百万円

■ 現在の中期経営計画の目標である業績回復に向けて、順調に進捗中

売上高と利益(3Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	57	億	14	百万円	増収
営業利益	16	億	37	百万円	増益
純利益	18	億	58	百万円	増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

■ 2021年3月期と2022年3月期の売上・利益比較(3Q)

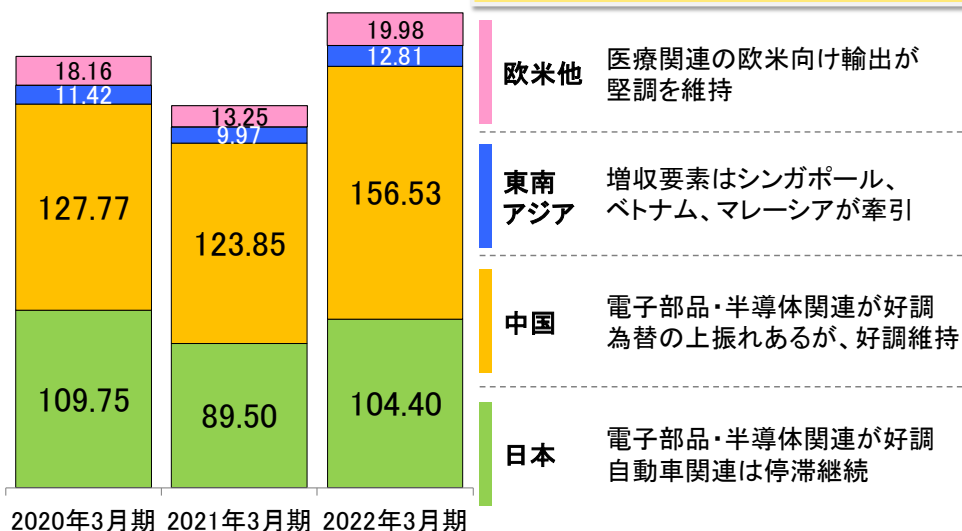
■ 前年同期実績は新型コロナウイルスの影響を受けていたが、順調に回復しており、大幅な増収増益

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(3Q比較)

(単位: 億円)

全ての地域において増収となるも、
日本はコロナ禍前の回復には至らず



欧米他 医療関連の欧米向け輸出が
堅調を維持

**東南
アジア** 増収要素はシンガポール、
ベトナム、マレーシアが牽引

中国 電子部品・半導体関連が好調
為替の上振れあるが、好調維持

日本 電子部品・半導体関連が好調
自動車関連は停滞継続

■地域別の売上高

■全地域において増収を達成することが出来、中でも中国が好調を維持

■新型コロナウイルスの影響を受ける前である、2020年3月期と比較しても、中国の好調さが際立っている

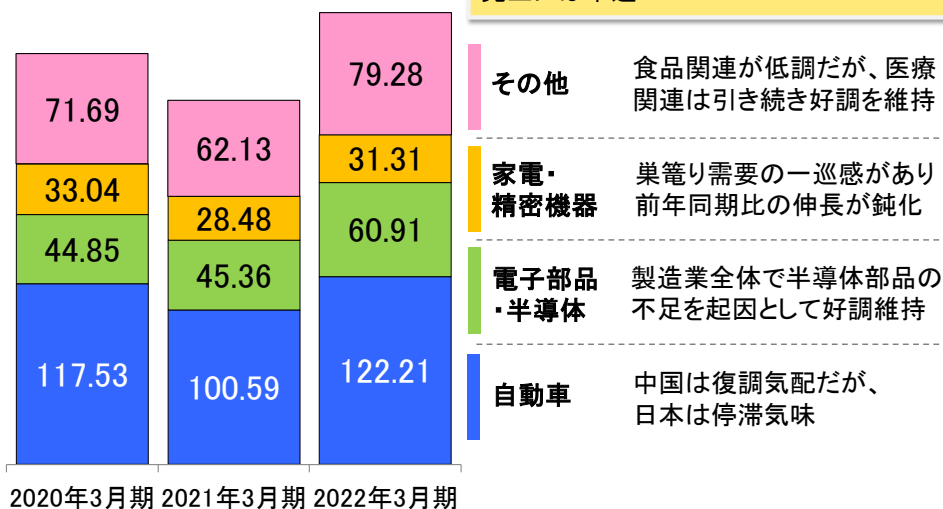
■一方、日本は昨年からは電子部品・半導体関連の受注好調によって回復基調にあるものの、2020年3月期までは回復しきれていない状況

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(3Q比較)

(単位: 億円)

電子部品・半導体関連が好調を維持
引き続き、家電・精密機器はコロナ禍前の
売上には未達



その他 食品関連が低調だが、医療
関連は引き続き好調を維持

家電・精密機器 巣籠り需要の一巡感があり
前年同期比の伸長が鈍化

電子部品・半導体 製造業全体で半導体部品の
不足を起因として好調維持

自動車 中国は復調気配だが、
日本は停滞気味

2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

■業種別の売上高

■自動車関連は、中国では堅調に推移し、日本では引き続き停滞気味となっているが、2020年3月期と比較しても全体的に復調気配を見せつつある

■電子部品・半導体関連は好調をキープしているが、半導体不足等による各業種の生産体制へ影響も出ている状況

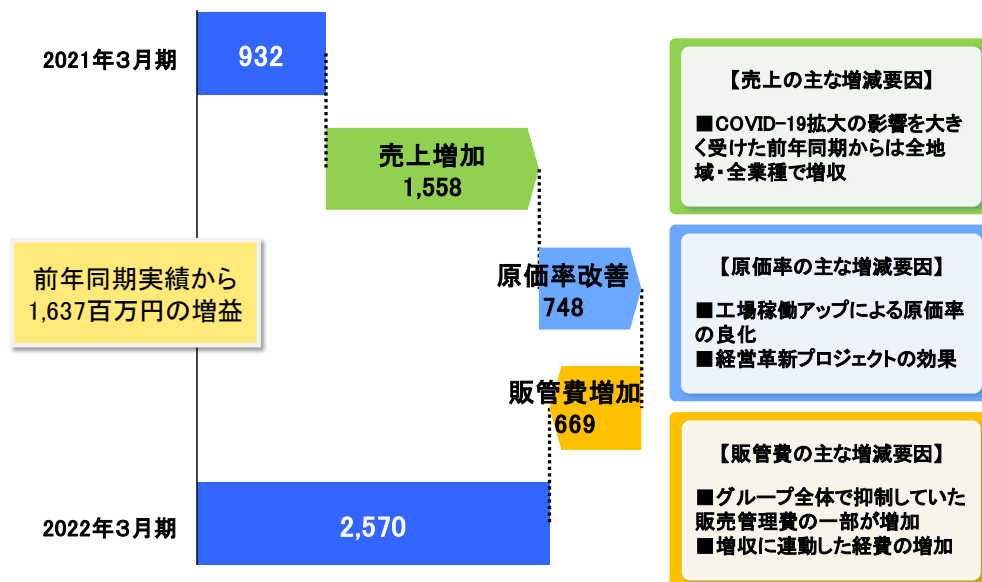
■家電・精密機器関連は巣籠り需要の一巡感があり、前年同期比の伸長が鈍化

■その他は医療関連が引き続き好調を維持

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(3Q比較)

(単位: 百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

■営業利益の増減分析

■前年同期の営業利益実績9億32百万円に対して、

売上増による利益増加が15億58百万円

原価率の良化が7億48百万円であり、要因としては、売上増加に伴う工場の稼働アップ、前期に発生した減損損失による減価償却費の減少に加えて、経営革新プロジェクトによる成果が現われ始めた

販管費は、6億69百万円の増加となり、グループ全体で抑制していた経費の一部が増加したことや、売上増加に連動した経費の増加があったことが原因

■結果、2022年3月期3Q累計期間の営業利益は、25億70百万円

前年同期から16億37百万円の増益

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	24,702	27,402	2,699
総負債	12,266	12,077	▲188
うち有利子負債	4,997	4,314	▲683
純資産	12,436	15,324	2,888
ネット資金	▲905	389	1,295
自己資本比率	50.2%	55.8%	5.6pt

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	302	818	516
減価償却費(無形固定資産含む)	800	716	▲84

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

7

■貸借対照表サマリー

■総資産は、26億99百万円の増加

■総負債は、1億88百万円の減少

■純資産は、28億88百万円の増加

■上記の結果から自己資本比率は前期末から5.6ポイント上昇し、55.8%

■設備投資額は、前年同期から5億16百万円増加の8億18百万円
前期は、投資抑制を徹底したこともあり、徐々に巡行速度に戻していく計画

2022年3月期 通期業績予想

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2022年3月期の通期業績予想

2022年3月期 通期の業績予想及び配当予想を上方修正

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 連結累計期間			
		前回予想 (2021/12/10公表)		修正予想	前期差 (前期比)
売上高	32,462	38,400	39,000	6,537 (120.1%)	600 (101.6%)
営業利益	5.0% 1,613	7.3% 2,800	7.3% 2,850	1,236 (176.7%)	50 (101.8%)
経常利益	5.2% 1,676	7.1% 2,710	7.2% 2,790	1,113 (166.4%)	80 (102.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5% 477	4.2% 1,630	4.6% 1,790	1,312 (374.7%)	160 (109.8%)
自己資本利益率 (ROE)	4.0%	11.8%	12.9%	8.9pt	1.1pt

2022年3月期 配当予想

13円 = 中間 4円(実施) + 期末 9円(予定)
※期末配当予想を5円増額(前期実績より11円増配)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

9

■2022年3月期通期連結業績予想は、2021年12月10日の上方修正公表時点と比較して、電子部品・半導体関連や医療関連の受注が好調を維持していることに加えて、食品・飲料関連の受注にも復調の動きが見られること等から、再度の上方修正

■併せて利益面も、直近の予測数値を織り込んだ結果、上場来最高益を更新し、今年度を最終年度とする現・中期経営計画の達成が確実な見通し

■親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正したことにより、ROEも前期から8.9ポイント上昇となる、12.9%まで回復する見込み

■今般の業績予想上方修正を受けて、期末配当予想は、1株当たり5円を増額し、9円(年間13円、前期実績より11円の増配)へと修正

■当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして取組んでおり、次期中期経営計画の中でも継続して、業績改善に伴う株主様への還元にも取組む

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2022/>

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,006名(グループ連結、2021年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



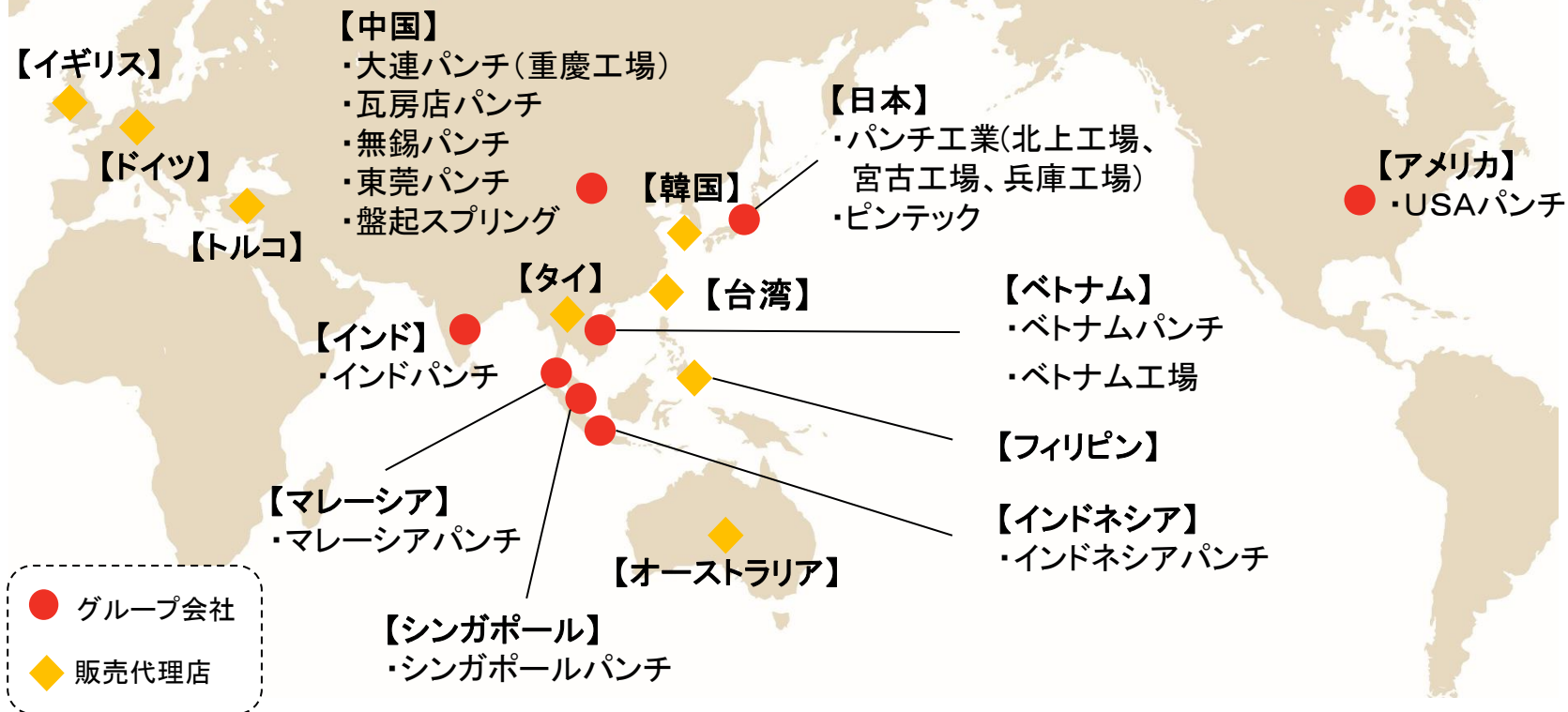
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

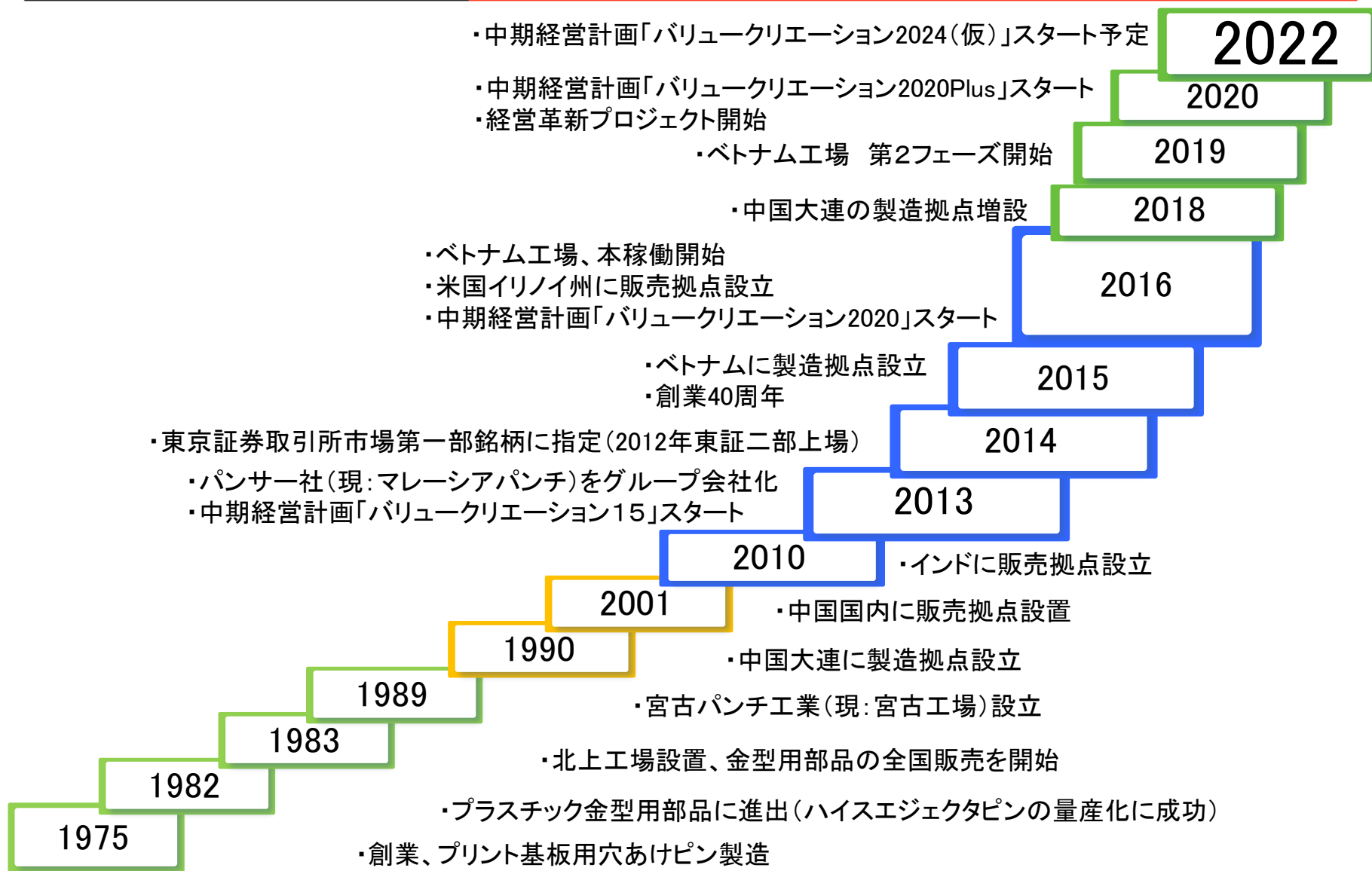
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

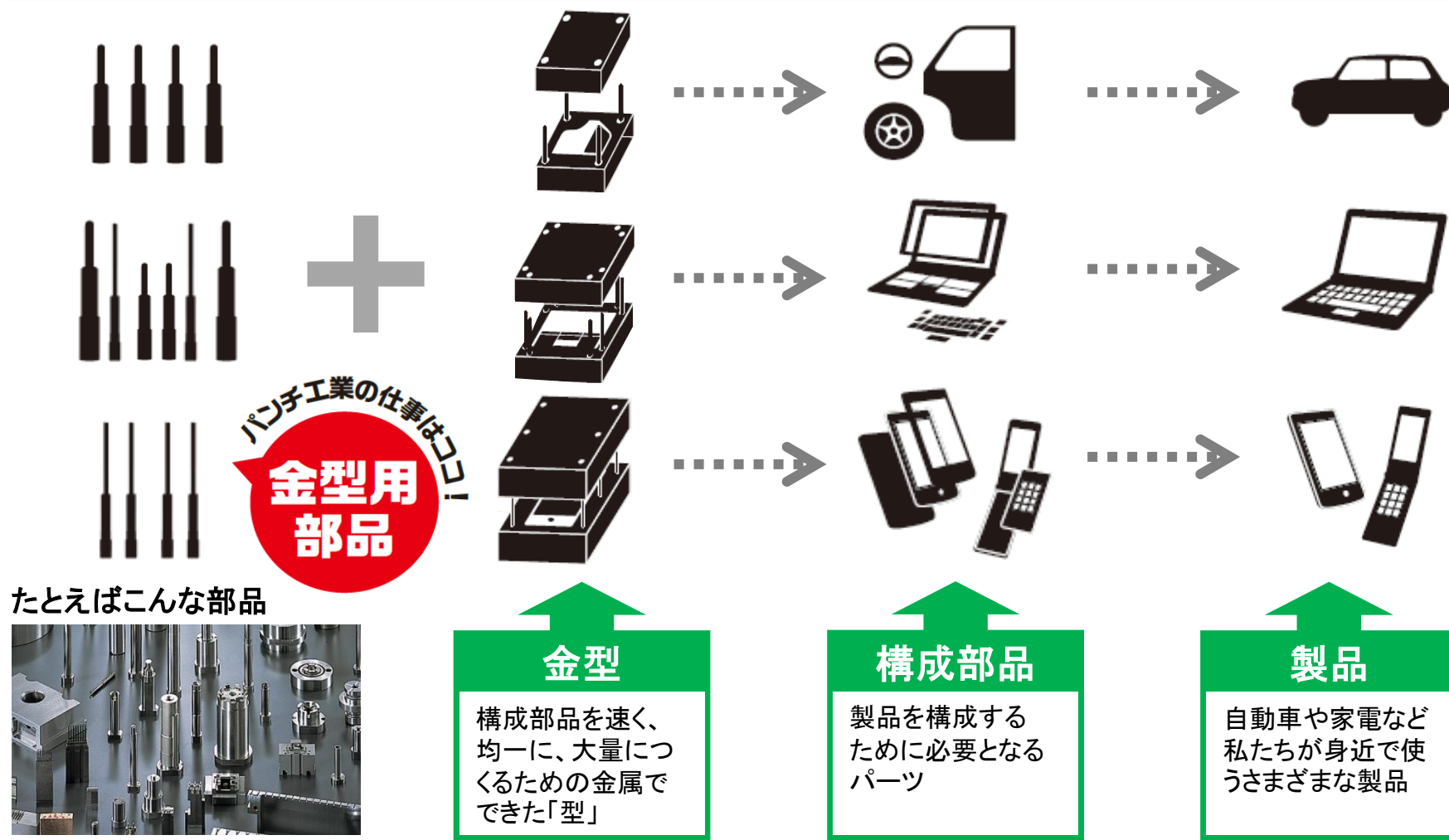


沿革

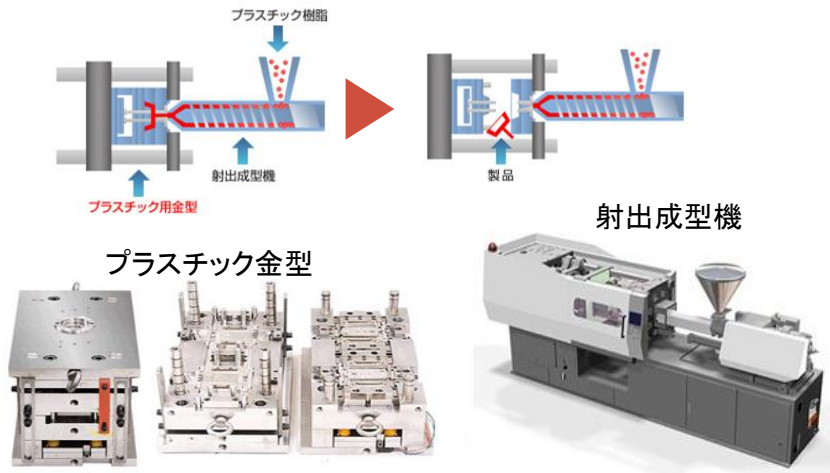


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

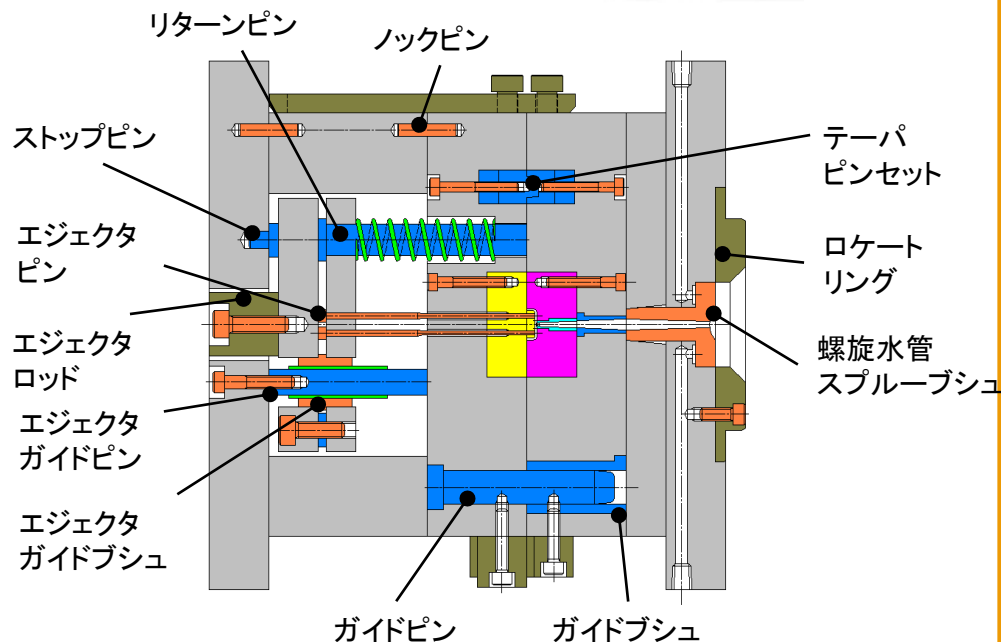
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

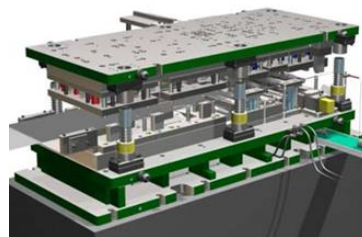
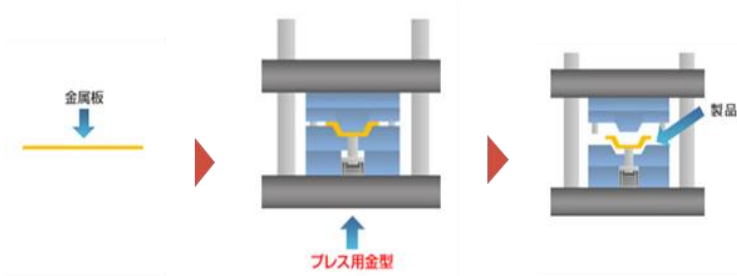
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



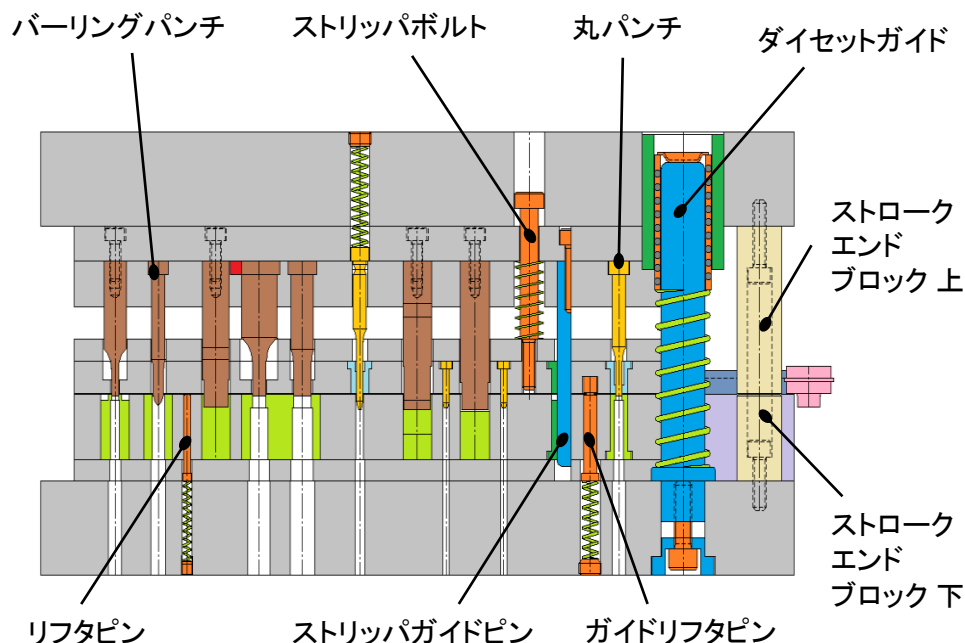
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|-----------|---|
| パンチ…………… | パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品 |
| ダイセットガイド… | 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品 |



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

タイムリーで的確な
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

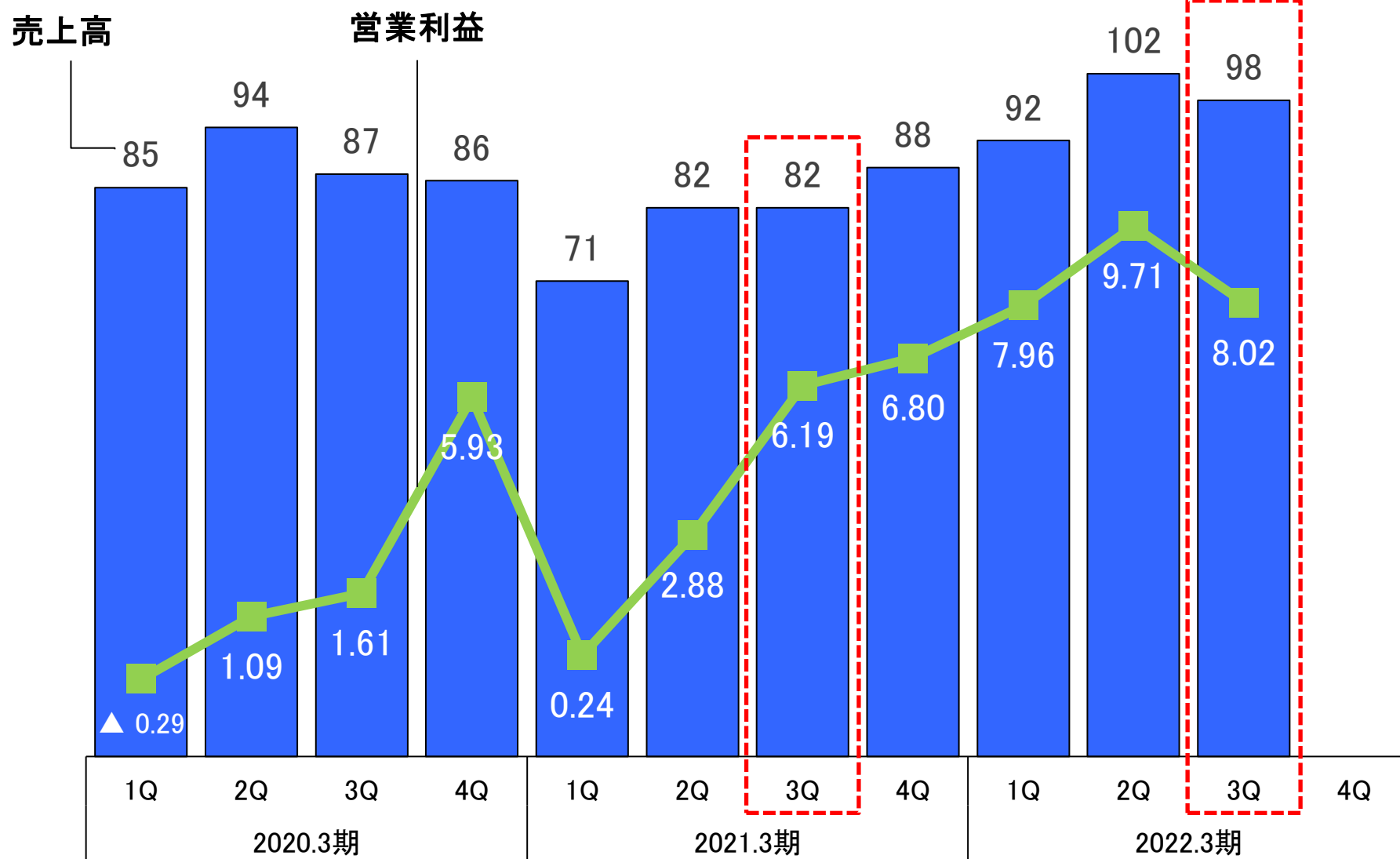
高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



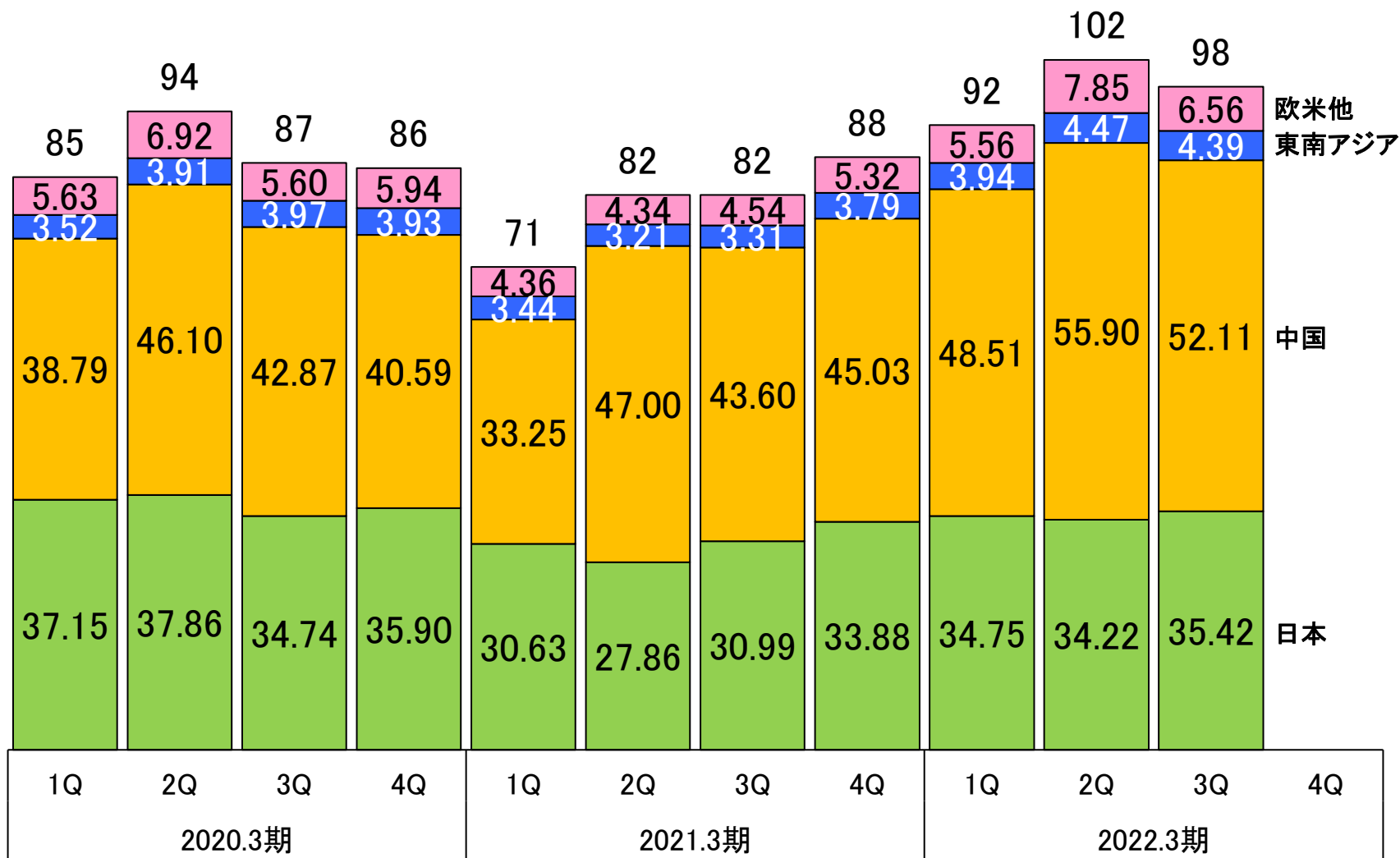
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



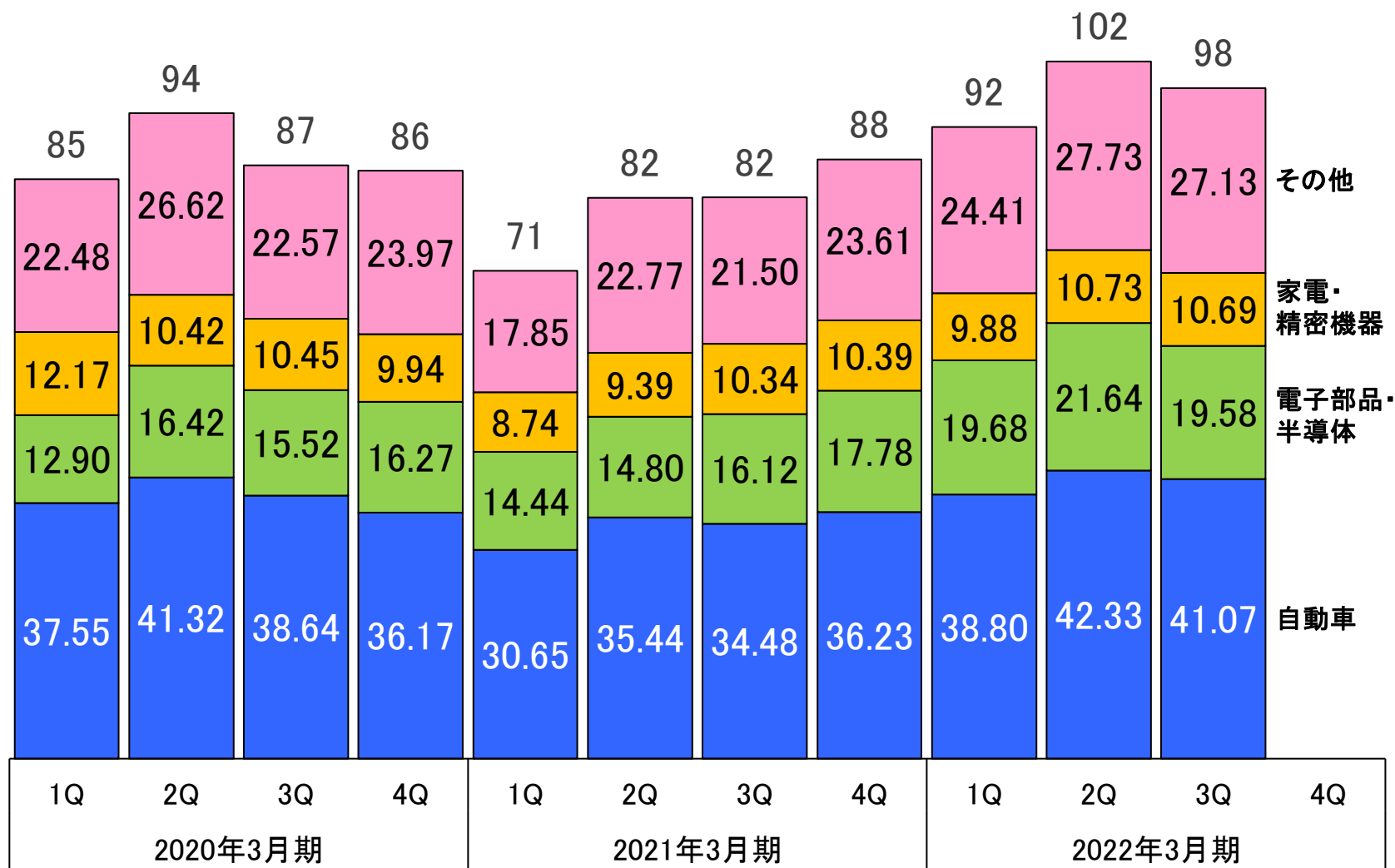
地域別売上高

(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

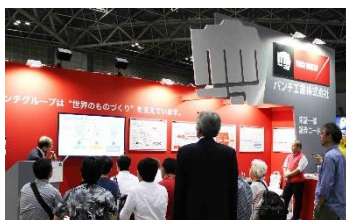
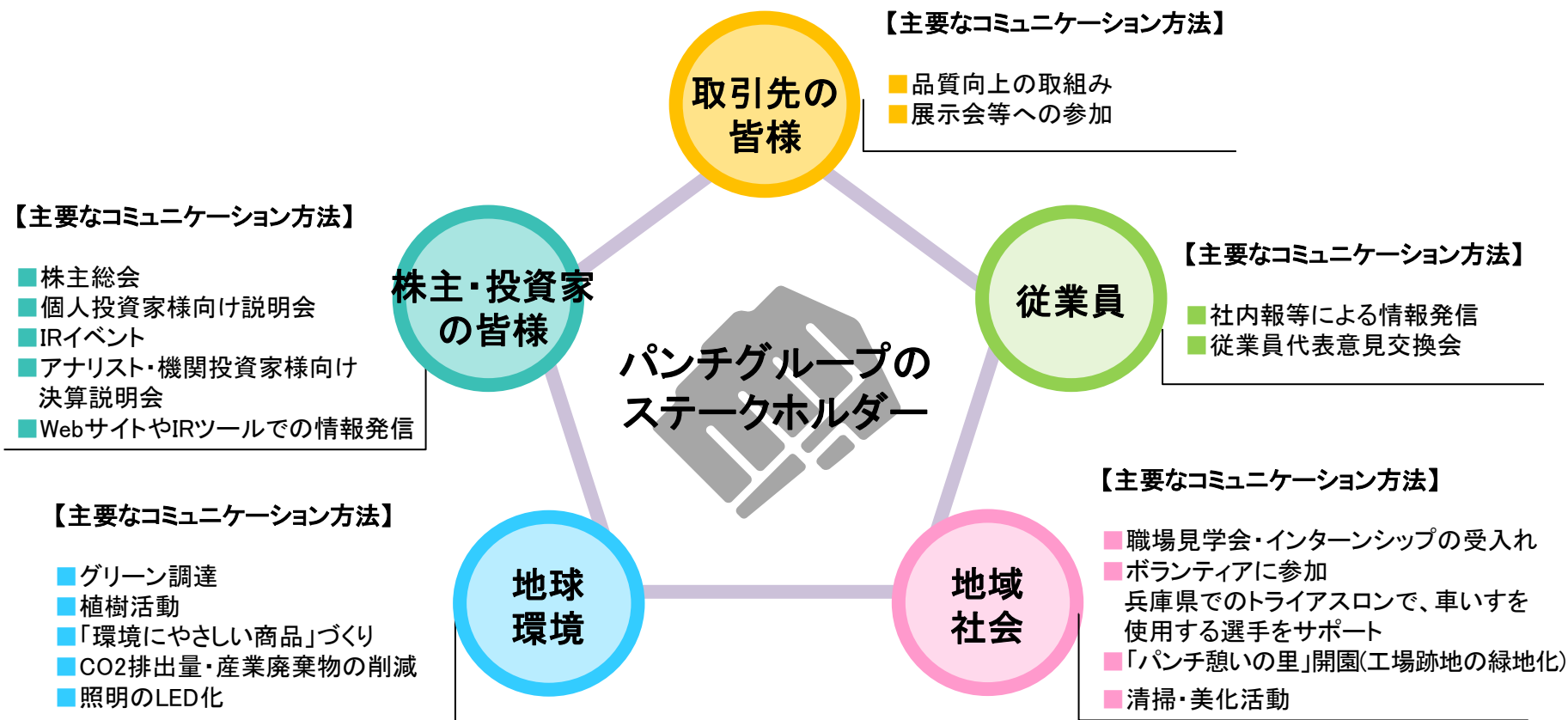
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2019年トライアスロンin加西)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理部 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。